

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	グローバル化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	国際交流課				
		実施期間	不明 ～	E-mail	kokusai @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・コロナ禍の約 3 年間は県民が海外の人々と交流する機会が大きく減少。現在は海外との往来が活発化している（令和 4 年外国人入国者数：503.9 %（R3 年比））。

・このため、友好提携都市等と連携し、青少年の相互訪問交流や次代の国際交流を担う人材育成など各国との交流・協力を再拡大していく必要がある。

2 事業目的

海外の国や地域との交流を推進することで、友好関係を一層発展させるとともに、県民の国際感覚の醸成を図る

3 事業目的を達成するための取組

- ①国際関係パートナーシップの強化
- ・長野県河北省友好提携40周年を契機として、河北省の訪問団を受入
 - ・交流協力に関する覚書を締結した北京市と連携し、スキー交流や青少年交流、観光互惠協力を促進
 - ・友好都市と青少年等の相互訪問交流を実施
 - ・外務省と連携して県や県内企業等の特徴や強みを広く世界に向けて発信する機会を創出
- ②次代の国際交流を担う人材の育成など県民の国際感覚の醸成
- ・文化講座や海外への現地研修を実施し、大学生国際交流リーダーを育成
 - ・国際交流員を小中学校や地域の講座等へ派遣
 - ・国際交流員による自主企画イベントの開催、SNSでの情報発信
- ③海外県人会との交流
- ・令和 6 年度に在ブラジル長野県人会創立65周年を迎えるブラジル・サンパウロ市、及び入植100周年を迎えるブラジル・アリアンサ移住地を訪問し、記念式典に出席するとともに、現地の方々と交流
 - ・ブラジル及びアルゼンチンの海外県人会の運営や各種事業に対し、補助金を交付

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
②-1	大学生国際交流リーダーの参加人数	人	26	30	↗	43	↗	30	達成 事業の活性化及び多様性を測るための指標として設定。 過去 3 年間（R3～R5）の平均値から同程度を維持する。
②-2	大学生国際交流リーダーの満足度（5 段階）	点	5.0	4.5	↘	4.3	↘	4.7	未達成 リピーターを獲得できる事業内容となっているかをモニタリングするための指標として設定。すでに高水準の満足度を得ているため、この水準を維持する4.7点を目標とした。
②-3	国際交流員の派遣満足度	点	4.79	4.63	↘	4.81	↗	4.7	達成 県民のニーズに応える事業内容となっているかをモニタリングするための指標として設定。過去 3 年間（R3～R5）の平均値から同程度の水準を維持する。

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1⑤	移住・交流・多様なかわりの展開										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	207,494	9,869	217,363	73,710	199,589	8.0
R5年度	0	179,654	△ 1,476	178,178	63,623	166,829	8.5
R4年度	0	170,679	24,800	195,479	122,931	188,867	7.2

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	グローバル化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	国際交流課		

7 主な取組実績と成果

①国際関係パートナーシップの強化

・河北省に加え、前年に覚書を提携した北京市と大学生の相互訪問交流を行った。河北省及び北京市から大学生 9 名が来県、長野県からは 7 名が河北省及び北京市を訪問し、現地大学生との交流や文化体験等を行った。

・韓国文化院等との共催で「韓国文化の日in松本」を開催し、県民等約700人が韓国や友好都市江原道の文化に親しんだ。

・米国での県産品販路開拓、インバウンド誘致、新たなネットワーク構築を目的に、知事が県内の物産・観光事業者等とニューヨーク、ポートランド、ロサンゼルス の 3 都市を訪問した。ニューヨークでは米国在住の J E T プログラム経験者等との意見交換会を開催し、海外の長野県にゆかりを持つ方とのネットワークの構築や交流のあり方について認識を共有することができた。

・駐日大使や外国商工会議所等122人ほか関係者を招き長野県の魅力を発信するレセプションを外務省と共催で開催したほか、中国大使館とも同様のイベントを開催した。県内から多くの産学官関係者が参加したことで、出展者の販路開拓やテストマーケティング、各国とのネットワーク構築の機会を創出できた。

②次代の国際交流を担う人材の育成など県民の国際感覚の醸成

・県内の小中学校や団体等に国際交流員（英国、中国、韓国）を計128回派遣し、母国の文化・歴史等の紹介や語学講座等を行った。

・国際交流員の自主企画による「文化講座」や「語学教室」等を開催したほか、S N Sを通じて海外の文化を発信した。

・国際交流に関心のある県内大学生43名が大学生国際交流リーダーとして活動した。これまで主に中国を対象としていた文化講座を韓国、英国にも広げ、「韓国文化の日」イベントでは自らブース運営・韓国文化の紹介を行うなど、異文化理解が進んだ。

③海外県人会との交流

在ブラジル長野県人会創立65周年及び第一アリアンサ入植100周年の記念式典に副知事・議長をはじめとする長野県関係者が出席した。県人会の発展や移住先ブラジルの開発に顕著な功績のあった方を表彰するとともに、長野県ゆかりの関係者との交流を深めることができた。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ②-1	大学生国際交流リーダーの参加人数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
前年度に参加した大学生の参加（リピーター）があったのに加えて、県内の各大学へ直接訪問し取組を周知したことで、前年度から大幅に参加者が増えた。							
指標 ②-2	大学生国際交流リーダーの満足度（5段階）	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
異文化講座や国際イベントの数を増やしたが、学生の参加者が多くなった分開催日の調整ができず、日程が合わずイベントに参加できないケースが増えたため満足度が下がり、目標を達成できなかった。							
指標 ②-3	国際交流員の派遣満足度	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	達成
前年度の派遣先（リピーター）からの申請が多かったことに加え、派遣先の要望に応じた講座を実施できたことが満足度につながり、目標を達成することができた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

・駐日大使館との交流や海外渡航などを通じて築いたつながりを活かし、引き続き交流を重ねて関係を深めることで、今後の県や県内関係者の国際展開において取組の充実や新たな機会創出につなげていく必要がある。

・海外との交流や県内での外国人材の受入れが進む中、県民の異文化理解の促進やグローバル人材の育成を図るため、国際交流員の活動範囲を広げ、より多くの県民が異文化に触れる機会を増やす必要がある。

・人口減少により海外との交流拡大が必要となる中、JETプログラム経験者や海外県人会など長野県にゆかりのある外国人等とのネットワークを強化する必要がある。

(2) 事業改善の方策

・海外友好都市や駐日大使館との交流を丁寧積み重ねるとともに、知事等の海外渡航においては、県内の産学官関係者と連携して実施する。

・市町村や団体等に対し、国際交流員の活動事例や取組内容を積極的に P R することで、国際交流員の市町村事業への派遣の増加につなげる。

・海外の J E T プログラム経験者や県人会など長野県にゆかりのある外国人や団体とのネットワークを強化し、国内外の外国人等と県民、企業、大学等が交流し、顔の見える関係づくりを通じて、互いに交流協力する機運を醸成する機会をつくる。

・海外県人会若手会員を長期研修生として受入れ、文化体験や企業等での研修等を通じて長野県への愛着を育み、海外県人会と長野県との橋渡しを担う人材を育成する。

事業番号	02 08 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	グローバル化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	国際交流課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	国際化啓発推進事業費		29,541 千円	33,014 千円	42,902 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	中国・中南米との青年交流事業	委託 直接	本県と中南米日系人社会や中国との交流を担う人材を育成するため、在アルゼンチン長野県人会や河北省・北京市の大学から研修員を受入れ		
			受入れ：9名（中国）、1名（アルゼンチン）		
2	国際関係パートナーシップ強化事業	委託 直接	海外の自治体との連携を強化するため、中国や韓国等の友好都市との交流を産学官民の協力を得て実施 ・大学生国際交流リーダーの養成講座・イベントを開催 ・韓国江原特別自治道議会訪問団を受入れ県内視察を実施		
			県内大学生中国派遣：1回、韓国江原道議会受入れ：1回		
3	通訳職員設置事業	直接	県の国際関連業務や外国籍県民対応のため、英語及び中国語による通訳や資料の翻訳を実施		
			通訳翻訳件数：162件（英語）、114件（中国語）		
4	国際交流員設置事業	直接	県民の異文化理解の促進や国際交流の機運醸成等を図るため、英語圏、中国及び韓国出身の職員を配置し、教育機関や地域の講座等に派遣		
			国際交流員派遣件数：128件		
5	ウクライナ避難民支援事業	補助金	県内に滞在するウクライナ避難民の生活を支援するため、支援金を支給		
			支給実績：1名		
6	世界に向けた長野県魅力発信事業	直接 委託	県産品の海外販路開拓やインバウンドの増加等につなげるため、外務省と共催で駐日大使等を招き、本県の魅力や強みをアピールするイベントを実施		
			レセプション参加者：大使館等122名（うち大使43名）その他98名		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	河北省・北京市友好提携事業費		0 千円	4,962 千円	4,222 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	中国大学生インターンシップ活用事業	直接	長野県と河北省の交流の担い手となる人材を育成するため、中国河北省の大学生1名をインターンシップ生として受入れ		
			研修期間：2か月		
2	長野県河北省友好提携40周年記念関連事業	直接委託	河北省から15名のスキー選手団の合宿を志賀高原で受入れ。北京市とは覚書に基づき、大学生の相互訪問交流を実施		
		負担金	スキー交流事業（河北省）：1回 青少年交流事業（北京市）：1回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	海外県人会連携事業費		1,823 千円	1,823 千円	9,881 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	海外県人会運営費補助金	補助金	本県から移住した中南米日系人社会の発展に協力し、本県との友好関係を促進するため、ブラジル及びアルゼンチンの海外県人会の運営や各種事業に対し、補助金を交付 定期総会の開催：各1回（そのほか役員会・行事の開催）		
2	在ブラジル長野県人会創立65周年等記念事業	直接 委託	在ブラジル長野県人会創立65周年、アリアンサ入植100周年を記念して、ブラジル・サンパウロ市及びアリアンサを訪問。記念式典に出席し、祝意を表するとともに、現地の方々と交流を実施 ブラジル訪問者：3団体（県・県議会・県町村会）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	自治体国際化協会職員派遣事業費		15,958 千円	10,583 千円	8,528 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自治体国際化協会海外事務所派遣事業	直接	（一財）自治体国際化協会本部及び海外事務所に職員を派遣し、実務型の長期派遣研修を実施 派遣職員：ロンドン事務所1名、クエア東京本部1名		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	一般外事事務費		67,951 千円	31,388 千円	29,611 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	一般外事事務	負担金 直接	県内自治体の国際化の推進及び教育現場での外国語教育の充実を図るため、（一財）自治体国際化協会の海外事務所設置運営など整備に係る分担金の支出や外国青年招致事業を実施 （一財）自治体国際化協会海外事務所7拠点の維持		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	一般旅券事務		73,594 千円	85,059 千円	104,445 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	一般旅券事務	直接 委託	法定受託事務である一般旅券発給等に係る申請の受理、作成及び交付事務を適正に実施するとともに、電子申請の運用及びオンライン決済を推進 県内窓口数14、申請受理40,672件、交付40,269件		